

甲賀市 農業委員会だより

2024
vol.39
8.15

Agriculture
committee

- ② 輝け未来 / 一農家の独り言
- ③ 最適化活動強化期間が始まります
／農地利用最適化推進委員の紹介

- ④ 地域の活動を紹介します
- ⑤ 女性農業委員の活動／地域計画の取り組み状況
- ⑥ 地域で頑張る農業者紹介／編集後記

輝け未来



信楽町茶業協会

しがらきちょう
信楽町

※2 ページに関連記事があります。

輝け未来

信楽町茶業協会

朝宮茶の産地は滋賀県南部に位置する高原地帯にあり、標高400メートルの山間傾斜地で栽培されており、現在約100ヘクタールの耕作面積を有しています。

また、全国や関西の品評会において、関係機関のお力添えや町内外の方々のご協力のもと何度も農林水産大臣賞を受賞し、『香りの朝宮茶』として全国から高い評価を受けています。

茶農家数は30戸で、高齢化と後継者不足により減少傾向にあります。更に、リーフ茶の消費低迷やペットボトルの普及により大変厳しい経営状況でもあります。



協会といたしましては今後、各品評会へより多く出展し、各種イベントへ積極的に参加するなど、若年層をはじめ多くの方々に香り高い高級感のある『朝宮茶』を飲んでいただき、消費拡大に向けた取り組みを行っていきます。

そして、本年度より甲賀市の事業であるブランディングに取り組み、朝宮茶のブランド化を進め、協会員一丸となって邁進していこうと思っています。

(K)

一農家の 独り言

私が、父親の農業を引き継いだ頃の4月の終わりから5月には、圃場

には農作業に励む人があちこちに見かけたが、年々見ることが少なく、代わりに耕作放棄地が増えていく。集落でもここ

数年、コロナで生活環境は急速に変わり、私の集落での自治は何とか維持できているが、多くの集落で集会が無くなり、地域住民のコミュニケーションも悪くなってきている。

過疎と若者の減少による集落自治の維持の難しさ、今後の農村集落はどうなるのだろうかと考えるときりがない。ネガティブに考えたら山村集落に住めなくなる、ポジティブに考えたら山村集落には澄み切った空気、目にしみる緑、清い水、四季の野花、ゆるやかに流れる時間、そこに暮らす心豊かな人々、まだ多くの人間の住みよい環境が多く残っている。

考え方を変え、緑豊かな山々や耕作放棄地や空き家も資産と

思えば先は明るい。地球上の生物で老後があるのは人間だけであり、昔は寿命も短く老後も短かったが、現代では寿命も延び長い老後がある、AIが進化する社会、どこに住んでいても仕事ができる社会が近づいている気がする。

都会の雑踏の中、神経をすり減らして暮らしている人々の中には、のんびりと暮らし自然の中で子育てをしたい若い人や、老後、土いじりをしながら自然豊かな田舎で心豊かに暮らしたいと思う人も多くいると思う。この様な人々を受け入れるには資産はあるが、生活インフラでの生活用品の買い物や医療で不便はある。ここを補うことができれば山村の活性化につながるのではないのでしょうか。

そんなことを思いながら今日も農作業をしています。

(N)

8月から1月は 「最適化活動強化期間」 です

最適化活動強化期間とは

8月から翌年1月にかけて、農業委員・農地利用最適化推進委員が農地利用の最適化に向けた活動として「遊休農地の発生防止・解消」を目的に農地利用状況調査・農地利用意向調査を実施し、実態把握や遊休農地解消のための支援等に繋げるものです。

農地利用状況調査へのご協力を

農業委員・農地利用最適化推進委員は、農業委員会等に関する法律第35条の規定に基づき、必要に応じて農地に立ち入ることがありますので、ご協力をお願いします。



調査の様子



農地利用意向調査は必ず返信を

農地利用状況調査で遊休農地や遊休農地化のおそれがあると判断された農地に関しては、所有者に今後の利用方法の意向調査を実施します。確認するための書類等が届いた場合は必ず返信をお願いします。

実施スケジュール

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
「農地利用状況調査」 農業委員・推進委員 による現地調査			「農地利用意向調査」 調査票等を活用して 所有者の意向を確認			「意向に沿った 支援等の対応」	

農地利用最適化推進委員の紹介

欠員となっていた農地利用最適化推進委員は、第11回農業委員会総会で議決され、下記の方に決定しました。

担当地区：水口町 宇川・北内貴 鎌倉 康廣 委員
甲賀市水口町宇川653番地 Tel : 0748-62-0733

任期：令和6年6月10日～令和8年7月19日



『みんなで支えて、

みんなのでつくる鮎河の未来（あした）』

羽ばたけ鮎河自治振興会

鮎河地域では少子高齢化の影響により平成29年度に鮎河小学校の閉校や空き家の増加など集落存続への危機感が募ってきておりました。

『農村型地域運営組織（農村RMO）モデル形成支援事業』と市の『ランドデザイン』を活用し、将来も「住み続けたい」、住んでみたい、来てみたい」と思える『キラリ』輝く鮎河地域をめざし、自治振興会に『みらい部会』を設け、地域の課題や問題点とその解決方法、自慢できる良い点や地域資源とそれを活かせるためのアイデア等を市の支援職員も交えて意見交換・協議を令和4年から重ねてきました。

高齢化が進む中、鮎河の豊かな自然を利用し、獣害や気候に左右される環境の中で地元住民と農業法人「すごいええのう鮎河」が協力し合いながら、耕作放棄地をなくすため、鮎河米の

生産を続けてきました。このたび、農村RMOの補助金を活用し地域資源「鮎河米のパック米」の試作品を作製することとなり、地元住民をはじめ関係機関の皆様・さくらまつりに来場された方々等にご試食いただきアンケートに協力していただきました。



鮎河の千本桜の景色

先人から受け継がれた鮎河の美しい自然環境（鮎河千本桜・ホタル・清流・山・水）を守り次世代に継承させていくため、さまざまな問題点は山積していますが、鮎河が大好きという純粋な気持ちや危機感を忘れることなく地域住民が力を合わせ未来（あした）に向かっていきたいと考えます。

(S)



鮎河米のパック米

地域の活動をご紹介します

「水口かんぴょう」がG-I取得！
ジーアイ

甲賀市水口町を生産地とする「水口かんぴょう」が令和6年3月27日に農林水産省の地理的表示（GI）保護制度に登録されました。GI保護制度とは、生産地と結びついた産品の名称を知的財産として保護する制度で、産地内の生産基準を満たした商品だけがその名称とGIマークを使用することができます。水口かんぴょうは、

①水口町内で栽培された在来種由来の夕顔の実を使用する
②水口町内で剥き・干し作業を行う

③太陽と風の力による天日干しで仕上げる

ことが、基準となります。

「水口かんぴょう」は他産地のかんぴょうと比べ、やわらかく味が染み込むのが特徴で、春の祭礼などで食べられている「宇川ずし」には欠かせない食材として地域にも深く根付いている食材です。

水口かんぴょうは、四百年の生産の歴史があると言われ、江戸時代後期に初代歌川広重によって描かれた浮世絵「東海道五十三次之内水口」にも「名物干瓢」として

かんぴょうを

干す風景が描かれて

います。

しかしながら、

生産者の高齢

化などで生産

量が減少して

いること、と

くに若い人の

認知度の低さが課題とな

っているこ

とから、地元の高校生や小学生、

保育園児への課外学習にも取り組

んでいます。生産者：JA担当者

は、

「今回のGI取得が生産量・消費

量の増加、認知度向上のきっかけ

となり、『水口かんぴょう』が後世

にも受け継がれていくように頑張っ

ていきたい」と意気込みを語って

いただきました。今後のよりいっそ

うの水口かんぴょうの生産拡大が期

待されます。

※水口かんぴょうは、JAこうか花

野花市水口店等で購入できます。

皆さんもお試ください。

(E)



JA こうか HP
(かんぴょうを使ったレシピも掲載しています。)



自然乾燥中のかんぴょう

女性農業委員の活動

令和6年3月6日、全国より女性の農業委員・農地利用最適化推進委員が東京都の砂防会館へ参集し、「地域計画の策定・実現に女性の力を結集しよう！」をテーマに第19回女性の農業委員会活動推進シンポジウムが開催され、甲賀市からも女性農業委員6名が参加しました。

農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、令和5年4月から、地域農業の在り方を示した「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化されました。

地域の農地を次世代に引き継ぐべく取り組みをしてきた農業委員会にとって「地域計画」は、地域が一体となって将来の農地利用を考える貴重な機会です。

また、社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女が互いにその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊要な課題となっています。

います。

このことから、農業・農村の持続的な発展のため取り組んでいる、「農地利用の最適化」の取り組みにおいても、女性の声をさらに反映させ、これまで引き継いできた農地を将来の農業・農村のために繋いでいくことが必要であることをあらためて認識したシンポジウムでありました。

(〇)



『女性の農業委員会活動推進シンポジウム』の様子

地域計画の取り組み状況!!

市内各地域において地域計画の取り組みが進んでいます。

市内では対象集落124件あり、令和7年3月末までの作成に向けて取り組んでおられます。令和6年6月末現在で策定出来た集落が9件、現在協議中の集落は約80件となっています。作成についての相談や問い合わせも多数寄せられています。

農業者の減少が進む中で、農地を後世に残し、農業を効率的に営んでいくため、将来の農地利用について話し合い、目指す姿を具体化していきます。



地域計画策定に向けた話し合いの様子

地域計画とは

将来の目標地図を作るため、まず白地図に圃場ごとに今誰が耕作をしておられるかを色分けして示しています。

地域計画では耕作者の方に今後の意向を把握するために、アンケートや聞き取りを実施し、後継者の有無や規模拡大の意向などを確認し目標地図に付加します。

目標実現に向けて、どのような改善が必要かを課題化し検討しています。

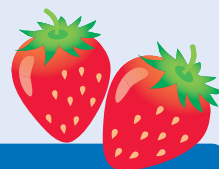
解決策としては、担い手の作業性を高めるため農地をまとめることや、除草の手間が大変な集落で応援隊をつくることなどが考えられます。

お問い合わせは

農業振興課 農政係

TEL 69-2192

がんば地域で頑張る農業者紹介



水口町今郷 ^{かなや えり} 金谷絵里さん

滋賀県立農業大学校就農科を卒業後、水口町今郷で、イチゴ農家として新規就農をされた金谷絵里さんを紹介します。

Q 農業を始められたきっかけは？

A 子どもの手がかからなくなり、残りの人生で好きな事を楽しんで過ごしていきたいと思い、子どもが大好きだったイチゴを栽培することにいたしました。

また、ピアノ講師をしていた事もあり、イチゴに優しい音楽を聴かせて育てるという音響栽培に挑戦をしています。

Q 困ったことや楽しいことは？

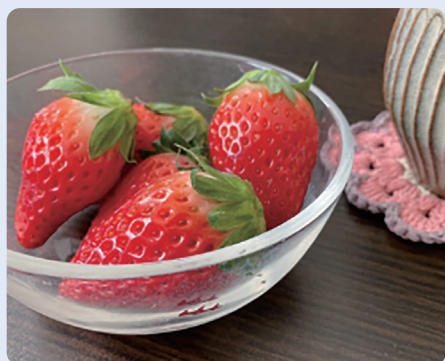
A 最初は農地の整備などの土木作業がメインでしたので、体力的にもかなりきつい思いをしました。ですが、今郷の方々の優しさにいっぱい助けられ、なんとか無事イチゴ農園のオープンへと漕ぎ着けられました。

草刈りや農地整備を手伝って下さった方や、直売所の宣伝にご協力下さった方々、販売所へお菓子や雑貨などを持ってきて下さった方々の優しさに、頭が下がる思いでいっぱいです。

周囲の皆様に恩返しができるよう、今は一生懸命イチゴ栽培に力を入れて頑張っていこうと思います。

Q 将来の目標や夢は？

A イチゴを使ったスイーツなどの加工品に挑戦したいと思っています。現在、市内のカフェやパン工房において私のいちごをケーキやパンに使用いただいております。お取引下さっている皆様と協力し、新たな商品開発、販売に力を入れていこうと思います。(F)



国が支える。安心が大きくなる 担い手 積立年金 【要約】 農業者年金

農業者年金加入条件 農業者年金は、次の要件を満たす方はどなたでも加入できます。

●65歳までの方 ●年間60日以上農業に従事(配偶者・後継者も可) ●国民年金第1号被保険者

お問い合わせは…

甲賀市農業委員会事務局 TEL 69-2262

JAこうか営農購買課 TEL 62-0720

安心して豊かな老後のため、
農業者年金に加入しましょう!!

旧年金の経営移譲年金を受給されている方で、後継者に委譲した農地を転用される場合、年金が減額されることがありますので、事前に農業委員会事務局までご相談ください。

編集後記

農業委員会が新体制になり、早くも1年が経過しました。女性の農業委員も増え女性からの農業の見方も変化して来たように思います。

地域の農地が守り育てられるよう、この広報紙が皆様にご活用いただける事を願っています。(M)

全国農業新聞

■発行日 毎週金曜日
■購読料 1ヶ月 700円
■申込
農業委員会事務局
または地区農業委員へ



インターネットからも
申込できます。